

27 ('14 一橋大)

【難易度】… 難

数直線上の点 P を次の規則で移動させる．一枚の硬貨を投げて，表が出れば P を $+1$ だけ移動させ，裏が出れば P を原点に関して対称な点に移動させる． P は初め原点にあるとし，硬貨を n 回投げた後の P の座標を a_n とする．

- (1) $a_3 = 0$ となる確率を求めよ．
- (2) $a_4 = 1$ となる確率を求めよ．
- (3) $n \geq 3$ のとき， $a_n = n - 3$ となる確率を n を用いて表せ．

【テーマ】：確率と漸化式

方針

(1), (2) は，具体的な状況を考えても求められますが，(3) は，漸化式を立てて考えると求め易くなります．

解答

- (1) $a_3 = 0$ となるのは，
 - (i) 表裏表の順に出る場合．
 - (ii) 裏裏裏の順に出る場合．

のいずれかであるから，求める確率を p とすると，

$$p = \left(\frac{1}{2}\right)^3 + \left(\frac{1}{2}\right)^3 = \frac{1}{4} \cdots \cdots (\text{答})$$

- (2) $a_4 = 1$ となるのは，
 - (i) $a_3 = 0$ かつ 4 回目が表の場合．
 - (ii) $a_3 = -1$ かつ 4 回目が裏の場合．

のいずれかである． $a_3 = -1$ となるのは，裏表裏と出るときであるから，その確率は， $\left(\frac{1}{2}\right)^3$ である．よって，求める確率を q とすると，

$$q = \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{2} + \left(\frac{1}{2}\right)^3 \cdot \frac{1}{2} = \frac{3}{16} \cdots \cdots (\text{答})$$

- (3) $n \geq 3$ のとき， $a_n = n - 3$ となる確率を r_n とする． $a_n = n - 3$ となるのは，
 - (i) $a_{n-1} = n - 4$ かつ n 回目が表の場合．
 - (ii) $a_{n-1} = -(n - 3)$ かつ n 回目が裏の場合．

のいずれかである． $a_{n-1} = n - 4$ となる確率は， r_{n-1} である．また， $a_{n-1} = -(n - 3)$ となるのは，1 回目に裏が出て 2 回目から $n - 2$ 回目までがすべて表であり， $n - 1$ 回目で裏が出るとき，すなわち

$$0 \xrightarrow{\text{裏}} 0 \xrightarrow{\text{表}} 1 \xrightarrow{\text{表}} 2 \xrightarrow{\text{表}} \cdots \xrightarrow{\text{表}} (n-3) \xrightarrow{\text{裏}} -(n-3)$$

$\underbrace{\hspace{10em}}_{n-3 \text{ 回}}$

となる場合であるから，その確率は $\left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$ である．

ゆえに, $n \geq 3$ のとき,

$$r_n = \frac{1}{2}r_{n-1} + \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} \cdot \frac{1}{2} \iff r_n = \frac{1}{2}r_{n-1} + \left(\frac{1}{2}\right)^n$$

が成り立つ. 両辺に 2^n をかけて,

$$2^n r_n = 2^{n-1} r_{n-1} + 1 \quad (n \geq 3)$$

より, 数列 $\{2^n r_n\}$ は, 初項 $2^3 r_3$, 公差 1 の等差数列である. r_3 は $a_3 = 0$ となる確率であるから, (1) より $r_3 = \frac{1}{4}$ である. ゆえに,

$$2^n r_n = 8r_3 + (n-3) \cdot 1 = 8 \cdot \frac{1}{4} + n - 3 = n - 1$$

$$\therefore r_n = \frac{n-1}{2^n} \dots \dots (\text{答})$$

◇ ◆ ◇

解説

(1), (2) は, 考えられる状況をもれなく挙げれば求められますが, (3) は規則的な動きをするものなので漸化式が有効です. 漸化式を立てることができなくても, n 回移動して $n-3$ に到着しなければならないので, 裏は最大 3 回までしか出せないことに気付けば, 漸化式を用いず直接考えることもできます.

別解

初めて表が出るのが k 回目であるとすると, $a_n = n-3$ であるから, $k \leq 4$ である. このとき, k の値によって場合分けを行う.

(i) $k=1$ のとき, P の座標の変化は,

$$0 \xrightarrow{\text{裏}} 1 \xrightarrow{\text{裏}} -1 \xrightarrow{\text{裏}} 0 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow \dots \rightarrow n-3$$

(ii) $k=2$ のとき, P の座標の変化は, 3 回目以降どのタイミングで裏が出るかで, 次の $n-3$ 通りがある.

$$0 \xrightarrow{\text{裏}} 0 \xrightarrow{\text{裏}} 1 \xrightarrow{\text{裏}} -1 \xrightarrow{\text{裏}} 1 \rightarrow 2 \rightarrow \dots \rightarrow n-3$$

$$0 \xrightarrow{\text{裏}} 0 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \xrightarrow{\text{裏}} -2 \xrightarrow{\text{裏}} 2 \rightarrow \dots \rightarrow n-3$$

⋮

$$0 \xrightarrow{\text{裏}} 0 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow \dots \rightarrow (n-3) \xrightarrow{\text{裏}} -(n-3) \xrightarrow{\text{裏}} n-3$$

(iii) $k=3$ のとき, $a_n = n-3$ となることはない.

(iv) $k=4$ のとき, P の座標の変化は,

$$0 \xrightarrow{\text{裏}} 0 \xrightarrow{\text{裏}} 0 \xrightarrow{\text{裏}} 0 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow \dots \rightarrow n-3$$

よって, (i)~(iv) より全部で $n-1$ 通りあるから, 求める確率 r_n は,

$$r_n = (n-1) \left(\frac{1}{2}\right)^n = \frac{n-1}{2^n} \dots \dots (\text{答})$$